

羅 針 盤			方 策	第1回 点検・評価			第2回 点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等	改善策	自己評価	外部アンケート等	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①「単位制の履修形態に満足している」と考える生徒・保護者が90%以上である。	研修を実施するなどして、履修ガイダンス及び履修相談に力を入れる。	A	A	本校の教育課程等について、生徒の99%、保護者の98%が肯定的な回答をしている。引き続き、きめ細かな履修相談を実施し、生徒の単位習得を促す。			
		②「自分の学校が好きである」と考える生徒・保護者が80%以上である。	生徒の修学目的が達成できるようにサポートする。	A	A	本校が好きであるかについて、生徒の87%、保護者の98%が肯定的な回答をしている。引き続き、魅力ある学校づくりに取り組む。			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	③「授業が分かりやすい・適切である」と考える生徒・保護者が90%以上である。	7月と12月に授業アンケートを実施し、生徒の実態にあった授業を工夫する。	A	A	スクーリングの実施状況について、生徒及び保護者の94%が肯定的な回答をしている。引き続き、生徒の実態に即した指導の実施に努める。			
		3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	④「学力が向上した」と考える生徒・保護者が70%以上である。	主体的・対話的で深い学びの実現を目指して生徒理解に努めるとともに、過程を重視して、自主的・自発的な態度を育む授業に取り組む。	A	A	本校に入学して学力が向上したと思う生徒は80%、保護者は74%である。主体的で対話的な深い学びの実現を目指して、生徒が学力の向上を実感できるスクーリングの実施に努める。		
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑤全教職員が、重点目標を踏まえた自己目標を設定し、教育活動に取り組んでいる。	重点目標と学校評価一覧表を連結し、これらに基づいて自己申告書を作成する。	A		全ての教職員が、教育目標及び学校運営方針等を踏まえて自己目標等を設定し、教育活動を展開している。			
		⑥生徒に関する情報交換を月2回以上行う。	情報の共有化を図り、統一した指導体制をとる。	A		引き続き生徒に関する情報交換を月に2回以上行いきめ細かな指導に役立てる。			
		⑦「交通マナー・交通ルールの遵守を意識している」と考える生徒・保護者が100%である。	「フレックス通信」等で交通マナー・交通ルールの遵守を呼びかけるなどして、生徒の意識を高め、自己啓発を図る。	B	B	生徒の100%が交通安全を心掛けていると回答し、保護者の98%が子どもが交通安全を心掛けていると回答している。引き続き、命を大切にすることを徹底に努める。			
		⑧生徒の単位修得率が60%以上である。	学籍管理システムの有効利用を図り、指導に生かし、個々の生徒にきめ細かな指導を行う。			引き続き個々の生徒にきめ細かな指導を行い、より多くの生徒が単位修得できるよう支援する。			
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑨「携帯電話やフレックス通信でいつも学校の情報を確認している」と考える生徒・保護者が90%以上である。	スクーリングごとにホームページを更新し、携帯電話等で学校からの連絡が見られるようにする。	B	A	「フレックス通信」による情報配信については、生徒の91%、保護者の95%が連絡や情報が伝わっていると回答しているが、掲載内容に係る問合せ等が複数あるため、情報の掲載について周知に努める。			
		⑩「学校生活が充実している」と考える生徒・保護者が70%以上である。	生徒が能動的に取り組める学校行事等を実施する。	A	A	学校生活の充実について、生徒の86%、保護者の87%が肯定的な回答をしている。引き続き、学校行事等の充実を努める。			
6 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	⑪「教育相談が充実している」と考える生徒・保護者が80%以上である。	管理職、教育相談係、スクールカウンセラー等と連携し、個々の生徒へ複数の教職員で支援を行う。	A	A	教育相談の充実について、生徒の93%、保護者の95%が肯定的な回答をしておき、引き続き、支援を必要とする生徒の把握と組織的な支援体制の強化に努める。				
		⑫「学校は、いじめ防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っている」と認識している生徒が80%以上である。	オリエンテーションや集会、フレックス通信等において、いじめ防止に係る方針等を生徒に周知するとともに、いじめの早期発見を心がけ、認知した際は組織で対応し、早期解消に努める。	A	A	いじめの防止や早期発見に向けた学校の取組について、生徒の89%、保護者の86%が肯定的な回答をしている。引き続き、学校の「いじめ防止基本方針」等に沿って積極的にいじめを認知し、組織的・継続的な対応を行う。			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑬「進路指導が信頼できる」と考える生徒・保護者が70%以上である。	進路指導計画を確立し、系統的な指導を行う。	A	A	本校の進路指導について、生徒の90%、保護者の94%が信頼していると回答している。引き続き、生徒の希望に即した指導の在り方の模索に努める。			
		⑭進路情報を年4回以上発信する。	生徒や保護者に有用な情報を提供する。	A		「フレックス通信」を通じて随時進路情報を発信している。内容の充実を努める。			
8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑮「進路目標の実現に向けて努力している」と考える生徒・保護者が70%以上である。	卒業年次生の進路目標の達成を支援する。	B	B	将来の夢に向かって努力していると回答した生徒は79%、子どもの夢や志望を知っていると回答した保護者は69%であった。卒業年次生を中心に、進路目標の達成に向けた指導の充実を図る。				
		⑯通信制だよりである「フレックス通信」を月2回以上発行する。	保護者にも通信制の様子が伝わるよう多くの情報を提供する。	A		スクーリング等に合わせて「フレックス通信」を発行し、情報提供に努めている。引き続き、有用な情報の提供に努める。			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑰学校（通信制）のホームページを月2回以上更新する。	最新の情報を提供するよう全教職員が心がける。	B		計画どおりに更新を行っている。引き続き、内容の充実、精選に努める。			